

令和2年度科学教育振興助成（中谷財団）の対象校に指定されました

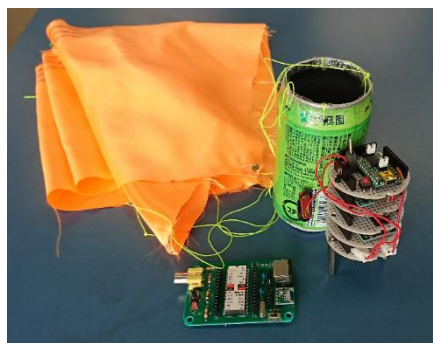
中学サイエンス部および高校サイエンス（物理）部で取り組んでいる「模擬人工衛星（缶サット）の挙動制御と構造的工夫に関する研究」について、公益財団法人中谷医工計測技術振興財団より、令和2年度科学教育助成の対象校に指定されました。

中谷医工計測技術振興財団は、将来を担う子どもたちの論理的思考力や創造性を育み成長させることが、科学技術の発展はもとより我が国の発展に寄与するのものと考え、小学校、中学校、高等学校における科学教育振興を目的とした取り組みに対して助成する事業を実施しています。

岡山で開催される研究成果発表会（12月）や高志高校主催の福井県合同課題研究発表会（2月）に向けて、研究に取り組んでいきます。



「I S T S 缶サットイベント」での研究成果発表の様子
(2019年6月22日、県教育総合研究所)



作製した缶サット、IchigoJam、センサー

【申請の目的と活動の概要】

現在、中学サイエンス部および高校サイエンス（物理）部で、缶サットと呼ばれる空き缶サイズの模擬人工衛星を作成し、その挙動制御や構造的工夫について研究を行っています。これまでに、パラシュートの大きさや形状などが落下運動に与える影響について、実験結果から考察し、第32回宇宙技術および科学の国際シンポジウム（I S T S）福井大会や福井県合同課題研究発表会（高志高校 SSH 主催）において、研究成果を発表してきました。今後は、福井県内で開発された小型パソコン「IchigoJam」や各種センサー等を缶サットに内蔵し、落下運動の解析や大気データの計測のミッションに取り組む予定です。福井県は2020年に県内企業と協力して超小型人工衛星の打上げを目指しており、地元産業に関連する本研究をより発展させること、科学技術分野で活躍できる人材を育成することを目的としています。